

「三位一体の主日」の説教

金 大烈 神父 2010年5月30日(日)

《幸せになる為に私は何をすべきか》

主の平和！

今日は何の日でしょうか？ 三位一体の大祝日ですね。私が太田教会に赴任して3回目の三位一体の祝日です。

今日はお説教の代わりに皆様に宿題を差し上げたいと思います、この宿題は急いで考える必要はありません。しかし真剣に重みを感じながらゆっくり自分の内面を見ながら答えていただきたいと思います、時間は一週間、二週間かかってもいいですが、三週間は超えないで下さい。この宿題の答えは自分の言葉(母国語)で紙に書き、整理して封筒に入れて私に出して下さい。もし出せなければ出さなくてもいいのですが、必ず宿題はやって下さい。この宿題をしなかったら、その方は私の事を嫌いだと思います。(皆、笑い)

皆様、私達の人生は後何年残っていますか？ 誰もわかりませんね。わかりませんが、ここに入る私達は誰も100年は生きないでしょう。

皆様は幸せになりたいですね？ しかしなかなかうまく出来ませんね。

「本当に自分が幸せになる為に何をすればいいかについて考えて下さい。」 素朴で簡単な答えもいろいろ出てくると思います。例えば「新しい家を建てる」、「幸せな結婚をする」、「ダイエットに成功する」等。しかしそれは本物の幸せとは直接に繋がっていない小さい事柄です。産まれてから死までの事を本当に考えて下さい。そして死を超えてからの事も考えて下さい。自分の人生がどの位残っているかも考えて下さい。いつか自分の一番愛するこの人と別れなくてはいけない時が来る事も考えて下さい。誰にでも与えられている時間は定まっています。そのいろいろな限りある時間を認めながら幸せになる方法はなんだろうと考えて下さい。死を超えて自分は幸せと言える内容を書いて下さい。とても難しい事です。私達に残されている時間はわかりませんが、この事が上手に整理出来れば、いつも生きる意味を感じながら時間を迎える事が出来ると思います。

そして私も同じことを考えます。

質問の意味は、お分かりになったんでしょうか。返事がありませんね。(皆、笑いながら「はい」と答える) 難しいですが幸せになる為に、この質問について良く考えていただきたいと思います。

昔の神学者達は自分の生と死を考える事が早ければ早いほどその人の人生は幸せになると言われていました。

ここに子供や高校生達の姿も何人か見えますが、彼らには重い質問になると思います。しかしこの問題から避けようとせず、わざとその問題に向かい立とうとしなければ、私達はいつも止まっている状態で終わります。

ありがとうございました。